

中丹地域振興計画の推進について

令和6年9月5日
京都府中丹広域振興局

01

地域振興計画



- 「中丹地域振興計画」の概要

心つながる田舎の魅力と都市機能の 両方を享受し、海・里山・まちを舞台に 求める暮らしが実現できる地域を

01 多様なライフスタイルが実現できる中丹地域

コロナ禍によるテレワークや地方移住の広がりなどを踏まえ、「田舎暮らし」「まちなか暮らし」「二拠点居住」など、この地域の強みをさらに生かして、一人ひとりの事情と希望に応じた多様なライフスタイルが実現できる地域

02 産業が活発で、働き方を幅広く選択できる中丹地域

農林水産業から製造業、サービス業まで様々な産業が活発に行われ、働き方も自営から就業まで幅広い選択ができる地域

03 若者が定着し、人にやさしい持続可能な中丹地域

コロナ禍で再認識された家族や社会の繋がり的重要性を踏まえ、Uターン等により若者がしっかり地域に定着し、子どもから高齢者まで住民が生き生きと暮らす、人にやさしい持続可能な地域

基本方向

2040年の実現に
向けた
「基本的な視点」
と
「具体的な施策」
を示すもの

計画期間

令和5(2023)年4月1日



令和9(2027)年3月31日

施策推進の基本的な視点

- ① 「一人ひとりの尊厳と人権の尊重」
誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向けて、人権教育、啓発の取組を推進
- ② 「多様な主体との連携・協働」
企業、地域住民、国、市、教育機関、DMO、地域で活動する団体、地域メディア等との連携・協働
- ③ 「地域における施策の総合的实施」
府の様々な部局が担当する施策を組み合わせコーディネート

具体的
施策

3つのテーマで「中丹地域の将来像」を実現（対応方針）

若者が定着する
持続可能な
地域づくり

若者地域定着・
担い手確保

絆と交流の
地域づくり

交流の拡大・
関係人口創出

安心・安全に
暮らせる
地域づくり

社会基盤整備・
防災減災対策

02

具体的施策



- 4年間で進める具体的な施策

4年間で進める具体的な施策

「2040年に実現したい姿」から現状を振り返り、
今後4年間で進める具体的な施策を設定

若者定着

- 01 **UIターン**等により若者等が暮らし続けたいくなる環境整備
- 02 人権が尊重され**子育てにやさしく**安心して暮らせる環境整備
- 03 **地域産業の振興と雇用の促進、人材育成**

絆と交流

- 04 自然や地域文化等の**地域資源**を生かした交流の拡大と関係人口の創出
- 05 地域の食など**特産品の魅力向上**を通じた交流の拡大と関係人口の創出
- 06 **京都舞鶴港**海外航路等の活用による人流・物流の拡大
- 07 人流・物流等を支える**交通ネットワーク**の整備

安心・安全

- 08 災害に強い**社会基盤整備**
- 09 **災害対応力の強化**
- 10 安心して暮らせる**環境整備**
- 11 万一に備えた**原子力防災**対策の充実

R6年度当初予算（中丹広域振興局分）の体系【計34,800千円】

若者が定着する持続可能な地域づくり		計20,600千円
定着促進	▶ 中丹へのU I ターン促進事業	5,000千円
子育て	▶ 中丹子育て未来づくり推進事業	3,500千円
働く場づくり	▶ 中丹の未来をつなぐ産業創造事業	1,500千円
	▶ 儲かる農林水産業推進事業	6,600千円
担い手育成	▶ 将来の担い手育成・確保事業	4,000千円
絆と交流の地域づくり		計11,500千円
	▶ 中丹ファン（応援団）獲得拡大事業	2,400千円
	▶ 中丹エリア周遊観光促進事業	2,200千円
	▶ 中丹「食の魅力」発掘・発信事業	3,400千円
	▶ 中丹スポーツトレイル推進事業	1,000千円
	▶ 「大阪・関西万博」中丹地域交流促進事業	2,500千円
安心・安全に暮らせる地域づくり		計2,700千円
	▶ 地域防災・減災ネットワーク事業	1,500千円
	▶ 将来の担い手育成・確保事業（再掲）	—
	▶ 安心して暮らせる環境整備事業	500千円
その他（地域振興計画推進費）		700千円

若者が定着する 持続可能な 地域づくり

01

U I ターン等により若者等が暮らし続けたいとなる 環境整備

- ▶ 高校生等若者地域就職・定着促進事業
 - ・高校生向け出前講座、保護者向け企業説明会
 - ・地域で働く若者の交流の場づくり
 - ・地元企業魅力体験・体感型ツアー
- ▶ 「移住するなら京都中丹」推進事業
 - ・現地ツアー
 - ・空家相談会・移住相談会
- ▶ Uターン施策調査・分析研究事業

02

人権が尊重され子育てにやさしく安心して 暮らせる環境整備

- ▶ 中丹子育て未来づくり推進事業

03

地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

- ▶ 中丹の未来をつなぐ産業創造事業
- ▶ 儲かる農林水産業推進事業
 - ・「万願寺甘とう」「中丹茶」等生産支援事業
 - ・「丹波くり」振興未来創造事業
 - ・循環型林業未来創造事業
- ▶ 将来の担い手育成・確保事業
 - ・ものづくり産業・建設業、林業
 - ・農業、畜産業
 - ・環境

絆と交流の 地域づくり

04

自然や地域文化等の地域資源を生かした 交流の拡大と関係人口の創出

- ▶ 中丹ファン（応援団）獲得拡大事業
- ▶ 中丹エリア周遊観光促進事業
- ▶ 中丹スポーツトレイル推進事業
- ▶ 「大阪・関西万博」中丹地域交流促進事業

05

地域の食など特産品の魅力向上を通じた 交流の拡大と関係人口の創出

- ▶ 中丹「食の魅力」発掘・発信事業

06

京都舞鶴港等を活用した人流・物流の拡大

07

人流・物流等を支える交通ネットワークの整備

- ▶ 人流・物流や地域の生活を支える道路整備の推進



京都中丹いちおし商品



京都舞鶴港

安心・安全に 暮らせる 地域づくり

08 災害に強い社会基盤整備

- ▶ 流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の計画的推進

09 災害対応力の強化

- ▶ 地域防災・減災ネットワーク事業

10 安心して暮らせる環境整備

- ▶ 野生鳥獣被害地域総合対策事業

11 万々に備えた原子力防災対策の充実



環境整備（感染症対応を含む避難所運営訓練）

03

各事業の取組



● 各事業の取組状況等

若者が定着する持続可能な地域づくり

施策展開の方向性

- ✓ 安心して子どもを産み育てることができる環境整備や、管内外に地域の良さを認識してもらうための情報発信、U I ターン等希望者の掘り起こしと地域とのマッチングによる**移住・定住促進**に取り組む。
- ✓ 地域中小企業の育成、働く場の創出や人材の確保及びマーケットニーズに対応した「儲かる農林水産業」を推進。
- ✓ 建設業やものづくり産業、農業、畜産業等の**担い手育成・確保**と、**環境問題に携わる次世代の人材育成**を図る。

重点的に

- 1 中丹へのU I ターン促進に向けた高校生等若者地域就職・定着促進事業等
- 2 安心して子育てができる環境整備に向けた中丹子育て未来づくり推進事業
- 3 地域産業の振興と雇用の促進に向けた中丹の未来をつなぐ産業創造事業等
- 4 ものづくり産業・建設業、農業、畜産業等の**将来の担い手育成・確保**事業

中丹地域振興計画の数値目標・実績数値

<計画期間：2023(R5)年4月～2027(R9)年3月>

70%以下：▲ 80%以上：○
70%以上：△ 90%以上：◎ 100%以上：☆

持
続
可
能

指標名称	基準値 (R4年度)	目標数値 (R8年度)	R5年度実績／R5年度目標 ＝達成率%
管内への移住者数(累計)	179人	2,035人	316/580 = 54.5%▲
中丹子育て未来づくり100人会議賛同数(累計)	151人・団体	275人・団体	200/200 = 100.0%☆
人権に関する啓発活動取組回数	27回	44回	33/33 = 100.0%☆
主な農林水産物の生産額	91,366万円	134,300万円	90,144/104,420 = 86.3%○
管内の製造品出荷額等	6,447億円	7,207億円	6,425/6,817 = 94.2%◎

若者が定着する持続可能な地域づくり <定着促進>

高校生等若者地域就職・定着促進事業

高校生向け出前講座、保護者向け企業説明会等

- ✓ 地元企業の高校生向け出前講座や現場見学会、保護者向け企業説明会、高校教員対象の企業見学会を開催
- ✓ 地元企業や工場などを見学し、製品や企業が提供するサービス等に触れることのできる**企業の魅力体験・体感型ツアー**を新たに実施

R5年度の実績

- ▶ **高校生向け出前講座 < 8 校 >**
※自主開催 4 校含む
- ▶ **高校生向け現場見学会 < 2 校 >**
- ▶ **高校教員対象企業見学会 < 3 回 >**
・参加者：延べ23名（5校2職業校ほか）
- ▶ **保護者向け企業説明会 < 1 回 >**
・出展数：企業13社、府立学校3校
・参加者：80名（児童・生徒含む）

保護者の声（抜粋）

- ・高校生の子がおり将来の進路について参考になった。
- ・興味のある企業の話が聞けて、中身の説明も濃かった。今までのイメージが改められた。
- ・このような説明会があれば、今後もぜひ参加したい。

R6年度の実況

- ▶ **高校生向け出前講座**
▶ 9校予定（自主開催含む）※2校実施済み
- ▶ **高校生向け企業見学会 < 2 校予定 >**
※1校実施済み
- ▶ **高校教員対象企業見学会 < 3 回予定 >**
- ▶ **高校生と保護者のための就活セミナー**
※中丹3市雇用連絡会議主催の合同企業説明会「高校生JOB EXPO」と同日開催
▶ **開催日：6月22日（土）**
・参加者：33名
- ▶ **企業の魅力体験・体感型ツアー【R6新規】**

若者が定着する持続可能な地域づくり <定着促進>

高校生等若者地域就職・定着促進事業

働く若者の交流の場づくり「YOU好会」

- ✓ 中丹地域で働く若者が、**職場以外の同世代や地域住民と交流**し、地域のひと・もの・場所への愛着を育む機会を設けることで、若者を中心とした様々な関係性を創出
- ✓ 職場以外での様々な関係性の構築により、**中丹地域の離職率低下や若者定住を促進する。**

R5年度の実績【R5新規】

- ▶ **第1回：BBQ（バーベキュー）交流会**
・参加者：14名
- ▶ **第2回：SUP（サップ）体験交流会**
・参加者：14名
- ▶ **第3回：いちご狩り交流会**
・参加者：15名
- ▶ **第4回：オリジナル時計づくり交流会**
・参加者：12名

R6年度の実組状況 ※全4回実施予定

- ▶ **第1回：カレー作り交流会（8月10日）**
・参加者：13名
- ▶ **第2回：SUP（サップ）体験交流会（9月7日）**
・参加者募集中



交流会の様子



SUP（サップ）体験の様子

主な意見・成果

- ・若者が少ない職場で働く参加者もあり、職場以外で若者と交流できて良かったという声が多かった。
- ・参加者の中には、毎回参加してくれる方もおり、「YOU好会」をきっかけに新たなつながりも出来ている。

若者が定着する持続可能な地域づくり<定着促進>

「移住するなら京都中丹」推進事業

- ✓ 中丹地域の魅力や地域交流を体感する農村・まちなか移住を体感できる現地ツアーを開催
- ✓ 移住希望者の住まいを確保するため、登録空家数の拡大に向けた空家相談会や、他イベント等と連携した移住相談会、管内3市担当者等との連絡調整会議を開催

R5年度取組実績

▶ 移住現地ツアー<2回>

- ・ 第1回（舞鶴・綾部編）
- ・ 第2回（舞鶴・福知山編）
- ・ 参加者：計10名

▶ 移住セミナー<2回>

- ・ 大阪市内・京都市内で実施
- ・ 参加者：計26名

現地ツアー参加者の声（抜粋）

- ・ 移住された方とこれからも色々相談をしたい。また、移住の候補地として検討したい。
- ・ 現地ツアーの体験メニューから、田舎暮らしの楽しみ方のイメージがふくらんだ。
- ・ 移住に伴う課題と対処方法について知ることができ、有意義だった。

R6年度取組状況

▶ 移住現地ツアー<2回>

- ・ 第1回(テーマ:子育て)8月24日(土)~25日(日)「中止」
- ・ 第2回(テーマ:田舎の楽しみ方) 11月頃
- ・ 第3回(検討中) 2月頃
 - ▶ 対象人数：各回6名程度

▶ 移住セミナー<1回>

- ・ 11月頃開催予定

▶ 空家相談会<2回>【R6新規】

- ・ 第1回 6月16日(日) <相談者11組>
- ・ 第2回 1月頃開催予定 <Web併用>
@京都経済センター

▶ 移住相談会<2回>【R6新規】

- ・ ALL KYOTO FES (9月7日(土))
@グランフロント大阪
- ・ ふるさと回帰フェア (9月22日(日・祝))
@東京国際フォーラム

Uターン施策調査・分析研究事業

【現状と課題】

- ✓ Uターン者等の把握については、進学時など住民票移動を伴わないケースなども多く、**移住相談窓口を経由しない場合などは、市では把握できない。**
- ✓ 総務省「住民基本台帳人口移動報告」では、どの市から各3市に転入等したかは把握できるが、移住した要因（転勤、進学、Uターン）等に関する情報が不明なため、**移住者増に向けたデータに基づく施策展開ができない。**

R6年度の取組状況（福知山公立大学への委託研究事業）

※茨城県牛久市
・中丹地域と属性（人口、都市との距離・時間等）が近く、人口の社会動態がプラス（転入超過）状態の市であることから、街頭調査を実施

▶ アンケート調査の実施

- ① 管内3市窓口で転入者にアンケート調査を実施中（5月～10月頃）→ 3市計で128件回収（7月末）
⇒ **Uターン者数の推計方法の検討、中丹地域の最新の移住傾向の把握**
- ② 茨城県牛久市※のターミナル駅等で街頭アンケート調査を実施（5月）→ 102件回収(30～40歳代)
⇒ **移住ニーズの把握、Uターンや定住等に関する潜在的意識の調査**

▶ 効果的な移住施策の検討

- アンケート調査の集約・分析等を踏まえ、**中丹管内の移住者や3市担当者による集団討議**を実施（10月以降予定）
⇒ **次年度以降の移住施策の展開に向け、重点的なターゲットの選定や、移住希望者のニーズに応じた事業内容を検討**

若者が定着する持続可能な地域づくり<子育て>

中丹子育て未来づくり推進事業

- ✓ 子育て中の方をはじめ、子育て支援団体や企業・経済団体、行政機関等が参画する「**中丹子育て未来づくり100人会議**」（プラットフォーム）を令和2年2月に設立
- ✓ 100人会議に「**子育てワーキング**」と「**企業ワーキング**」を設置し、子育てしやすい地域のあり方や職場づくり等に向けた取組を実施

R5年度の取組実績

- ▶ **子育て家庭応援セミナー**（11月）
 - ・参加者：51名

- ▶ **子育てにやさしい職場づくりに向けた企業向けセミナー**（R6.2月）
 - ・参加者：企業15社（15名）

- ▶ **中丹子育て未来づくり100人会議（全体会）**
〇ハイハイから就職まで まるごと子育てワンダーランド
 - ・R6年1月27日（土）
 - ・参加者：81名
 - ・内容：講演、事例紹介、ワークショップ

参加者の声（抜粋）

- ・地域で気軽に相談できる人がいると嬉しい。
- ・あいさつや声かけが大事。子育て家庭や子どもたち、高齢者が集い、交流できる機会があれば良い。

参加者の声（抜粋）

- ・職場での働き方について改めて考える機会となった。
- ・社員には「ライフキャリア」や「男性育休制度」などの研修が重要だと確認できた。



子育て未来づくり100人会議の様子

若者が定着する持続可能な地域づくり<子育て>

中丹子育て未来づくり推進事業

- ✓ 子育て支援に取り組む多様な団体の活動内容について、**子育て家庭へ広く情報提供等**を実施
- ✓ 誰もが働きやすい職場環境づくりに向け、**男性育児休業制度等に関する経営者セミナー**を開催
- ✓ 地域の中で行われている**子育てに関する優良事例を公募・発信**することで、**まち全体で子どもを育てる機運を醸成**

R6年度の取組状況

▶ 子育て支援団体活動の見える化 【R6新規】

- ▶ 各支援団体との交流会を実施し、団体活動を一覧化の上、全体会を通じて広く発信
- ⇒ **子育て家庭が抱える悩みを相談・解決しやすい社会環境を形成**

▶ 経営者向けセミナーの開催（11月以降）

- ▶ 対象者：中丹管内若手経営者等
- ▶ 内容（予定）
 - ・男性育児休業制度に関する勉強会等

▶ 中丹子育て未来づくり100人会議

○地域展開【R6新規】

- ▶ 内容
 - ・子育てを応援する取組の様子等の写真や、心温まるエピソードを集め(9月～公募)、全体会を通じてそれらの取組等を広く発信

○100人会議（全体会）（11月予定）

- ▶ 対象者：子育て家庭、子育て支援者、企業等
- ▶ 内容（予定）
 - ・心温まるエピソード共有や写真展の開催
 - ・子育てにやさしい活動を実施している団体等の取組紹介等

中丹の未来をつなぐ産業創造事業

- ✓ 管内中小企業の新規事業の創出や、ビジネスマッチングに向けた企業間の交流・連携の機会を提供
- ✓ 企業の新たな事業展開を促進するため、商工会議所などの産業支援機関、大学などの高等教育機関、金融機関等と連携した伴走支援（技術力強化、販路開拓、共同研究等）を実施
- ✓ R5年度は、「中丹イノベーション推進事業」として、新産業の創出などにつながるワークショップや交流会、成果発表会を開催



R5成果発表会の様子

R5年度の実績

▶ 推進プログラム（第1期）

- ▶ 開催数：7回（9月～12月）
- ▶ 参加者：9社18名
（中小企業経営者、現場リーダー等）

R6年度の取組状況

▶ 推進プログラム（第2期）

- ▶ 開催数：6回（11月以降）
- ▶ 参加者：企業の経営者層・現場リーダー等
- ▶ 内容：ワークショップ、交流会、成果発表会

▶ 共創プログラム【R6新規】

- ▶ 開催数：3回（11月以降）
- ▶ 参加者：
 - ・R5推進プログラム参加企業9社のほか、高等教育機関、産業支援機関等
- ▶ 内容：
 - ・異業種交流を活かした新たなアイデア創出
 - ・アイデア実現に向けた行動計画の策定 等

若者が定着する持続可能な地域づくり<働く場づくり>

儲かる農林水産業推進事業

「万願寺甘とう」「中丹茶」等生産支援事業、「丹波くり」振興未来創造事業

- ✓ 万願寺甘とう農家の生産性向上を図るため、**ICT技術の活用等**によるスマート農業を推進
- ✓ 中丹茶農家の技術力向上のため、**茶の技術力向上研修等**を実施
- ✓ 丹波くりの担い手確保に向け、栽培技術等を習得するための**モデル園での講習会**を開催

R5年度の実績

- ▶ **万願寺甘とう**
 - ・「万とうゼミ」の開催（計7回）<52名参加>
- ▶ **中丹茶**
 - ・若手生産者向け**茶の品質向上研修会**の開催（計5回）<延べ41名参加>
- ▶ **丹波くり**
 - ・「丹波くり実習モデル園」講習会の開催（計4回）<延べ227名参加>



R6年度の実況

- ▶ 「万とうゼミ」の開催(計6回 ※3回実施済み)に加え「**応用講座**」の開催(計2回予定)。**スマート農業技術**の活用(環境モニタリング機器の設置等)
- ▶ 若手生産者向け**茶の品質向上研修会**の開催（計6回予定）※1回実施済み
- ▶ 「丹波くり実習モデル園」講習会の開催（計4回予定）※12月～開催予定



儲かる農林水産業推進事業

循環型林業未来創造事業

- ✓ 管内モデル林地において**主伐・再造林一貫作業**を実践し、管内各地へ普及を促進
- ✓ 木造住宅のPRや木製品の販売等による**府内産木材の周知と活用**のほか、木材に触れ親しむ体験を通じて、**将来の担い手確保にもつながるPRイベント**を開催

R5年度の取組実績

▶ もくフェスin中丹（10月）【R5新規】

- ▶ 来場者：約2,500人
- ▶ アンケート結果
87%が[大満足]・[満足]と回答

▶ 循環型林業（主伐・再造林一貫作業）

- ・綾部市野田町内をモデル林地として実施
- ・R4モデル林地（福知山）で現地検討会開催



R5「もくフェスin中丹」の様子（木製滑り台）

R6年度の取組状況

▶ もくフェスin中丹（11月4日(月・祝)）

- ▶ 場所：福知山市三段池公園
- ▶ 内容：木造住宅PR、木製品販売、アトラクション、体験イベント等

▶ 循環型林業（主伐・再造林一貫作業）

- ・舞鶴市内でモデル林地を設定予定
- ・R5モデル林地で現地検討会を開催（7月8日）

▶ 丹波くりスイーツフェア(仮称)ガイドブック【R6新規】

- ・他団体と連携し、中丹管内の丹波くりスイーツ店舗等の紹介ガイドブックを作成（予定）

将来の担い手育成・確保事業



ダ・ヴィンチの考案した橋の模型づくり

ものづくり産業・建設業

- ✓ 府立福知山高等技術専門校と連携し、木工や機械加工、デザイン設計等を体験することで、ものづくり等の楽しさを学べる小中学生向けイベントを開催

R5年度の実績

▶ 夏休みものづくり技体験ツアー（7月） 【R5新規】

- ▶ 参加者：小中学生30名
- ▶ 内容：①木の椅子づくり
②自動車エンジン組立体験
③弁当の箱詰めライン作業 等



▲地元産木材を使った椅子づくり

▼自動車エンジン 組み立て



▲弁当パック詰め体験

R6年度の実況

▶ 夏休みものづくり技体験ツアー

- ▶ 日時：7月28日（日）※2部制
- ▶ 参加者：小中学生27名
- ▶ 内容：
 - ①木の椅子づくり
 - ②ダ・ヴィンチの橋の模型づくり
 - ③車の下回り見学&タイヤ脱着
 - ④弁当の箱詰めライン作業 等

R6参加者の声（抜粋）

- ・様々な体験ができて良かった。特に椅子づくりが楽しかった。
- ・とても楽しかった。体験できそうにないことがたくさんできたのでとてもうれしい。こんな体験ができる時は今後も参加したい。

将来の担い手育成・確保事業

R6 新規事業

農業、畜産業

- ✓ 新たな担い手の確保のため、**農業者と就農希望者とのマッチング支援**や、**就農体験インターンシップ**等を実施
- ✓ 府立農業大学校で小学生向けに、野菜の収穫作業や袋詰め作業といった**農業体験イベント**を開催
- ✓ 畜産業については、**小学生を対象とした乳牛の乳搾り**や乳製品加工等の体験学習を実施



乳牛の乳搾り体験

R6年度の取組状況

▶ 農業者と就農希望者とのマッチング支援

- ▶ マッチング会：12月開催予定
→就農希望者は府内から幅広く参加を呼びかけ
- ▶ 農家情報シート（10件作成済み）
→マッチング会や就農相談に活用

▶ 就農体験インターンシップ等

- ▶ インターンシップ：1回（農大生12名参加）
→農家の指導の下での農作業体験
- ▶ 魅力体験研修会：3回（計18名参加）

▶ 小学生向け農業体験イベント

- ▶ 日 程：7月24日（水）
- ▶ 場 所：府立農業大学校
- ▶ 参加者：47名（小学生、保護者等）

▶ 小学生向け酪農体験イベント

- ▶ 日 程：7月24日（水）
- ▶ 場 所：府畜産センター
- ▶ 参加者：18組50名（小学生、保護者）

将来の担い手育成・確保事業

建設業

- ✓ 建設業の役割や魅力を広く情報発信するため、実際に建設重機を動かせるVR機器を使った操作体験や現場見学ツアー等を実施
- ✓ 舞鶴工業高等専門学校や建設業協会等と連携し、ICT建設機械の搭乗体験や斜面崩壊、耐震の模型実験等の学生向け体験イベントを開催



VR機器による重機操作体験

R5年度の取組実績

▶ 建設業魅力向上イベント

(8月) 【R5新規】

- ▶ 場 所：舞鶴工業高等専門学校
- ▶ 参加者：19名
(小学5年生～高校生)

▶ 建設業体験イベント2023

(10月) 【R5新規】

- ▶ 場 所：福知山三段池公園
- ▶ 参加者：約300名 (府民一般)

R6年度の取組状況

▶ 建設業体験イベント2024

- ▶ 日 程：10月頃 (対象者：府民一般)
- ▶ 内 容：ダ・ヴィンチ橋作成体験、ドローンシュミレーター体験等 (予定)

▶ 現場体験型見学会〔建設業の役割や魅力を発信〕

- ▶ 日 程：11月頃 (対象者：小中学生と保護者)
- ▶ 内 容：VR重機操作体験、都市計画ブロック (ジオクレイパー) 等 (予定)

▶ 現場見学ツアー 【R6新規】

- ▶ 日 程：12月以降 (対象者：小中学生と保護者)
- ▶ 内 容：バスで中丹管内の各工事現場を周遊

若者が定着する持続可能な地域づくり <担い手育成>

将来の担い手育成・確保事業

環境（中丹SDGs環境学習推進事業）

- ✓ 地域の海岸漂着ごみ対策のため、スポーツ形式でごみを拾い集める「スポGOMI」等を開催
- ✓ 環境問題について自発的に行動できる人材の育成を図るため、身近な環境課題に関する**小学生向けセミナー（再生可能エネルギー工作教室）**を開催
- ✓ 小学生等を対象に**海洋プラスチックごみに関するワークショップ**を開催

R5年度の実績【R5新規】

- ▶ **由良川クリーン大作戦の支援**（5月）
▶ 参加者：約400名／回収量：約256kg
- ▶ **「スポGOMI in 由良川」**（9月）
▶ 参加者：約120名／回収量：約270kg
- ▶ **海洋プラスチックごみのアップサイクル製品による啓発事業**（10月）
▶ 参加者：約250名（小学生中心）

R6年度の実績状況

- ▶ **由良川クリーン大作戦の支援**（5月12日）
▶ 参加者：約330名／回収量：約65kg
- ▶ **再エネ工作教室の開催**（8月1日）【R6新規】
▶ 参加者：22名（小学生）
- ▶ **「スポGOMI in ふくちやま」**（9月29日）
- ▶ **海洋プラスチックごみのアップサイクル製品による啓発事業**（11月予定）

「スポGOMI」参加者の声（抜粋）

- ・ 海洋ごみについて知る良い機会であった。
- ・ 少しでもポイ捨てやごみの減量のきっかけになり、その気持ちがみんなに広がれば良い。
- ・ 環境問題をスポーツ感覚で身近に楽しみながら学べるすばらしい企画だと思う。

絆と交流の地域づくり

施策展開の方向性

- ✓ 中丹地域の自然や地域文化、特産品等の地域資源の魅力向上や地域内外への発信に取り組む。
- ✓ 海・森の京都DMO等とも連携して、地域のファン（応援団）を拡大。
- ✓ 人流・物流や地域の生活を支えるインフラ整備を推進

重点的に

- 1 まとめサイト「CO-KYOTO(こ きょうと)」等を通じた中丹ファン（応援団）獲得拡大事業
- 2 「京都中丹いちおし商品」や「京都中丹認証ジビエ」の中丹「食の魅力」発掘・発信事業
- 3 京都舞鶴港海外航路等の活用による人流・物流の拡大
- 4 人流・物流等を支える交通ネットワークの整備

中丹地域振興計画の数値目標・実績数値

<計画期間：2023(R5)年4月～2027(R9)年3月>

70%以下：▲ 80%以上：○
70%以上：△ 90%以上：◎ 100%以上：☆

指標名称	基準値 (R4年度)	目標数値 (R8年度)	R5年度実績／R5年度目標 ＝達成率%
海の京都エリアの観光客の満足度	79%	90%	91.3/81.0 = 112.7%☆
海の京都エリアの府域の観光消費額単価	10,183円	12,200円	8,941/10,700 = 83.6%○
森の京都エリアの観光客の満足度	73%	90%	91.3/77.0 = 118.6%☆
森の京都エリアの府域の観光消費額単価	3,213円	5,200円	3,275/3,700 = 88.5%○
まちづくりに取り組む地域数(累計)	—	3地域	5/1 = 500.0%☆
クルーズ船寄港回数	4回	40回	10/15 = 66.7%▲
京都舞鶴港コンテナ取扱量(空コンテナ含む)	18,063TEU	25,000TEU	17,185/22,000 = 78.1%△

絆と交流の地域づくり

中丹ファン（応援団）獲得拡大事業

「CO-KYOTO(こ きょうと)」の運営等

- ✓ まとめサイト「CO-KYOTO(こ きょうと)」や各種メディアを通じ、海・森の京都DMOや管内各市等、多様な主体とも連携して、**中丹地域の子育て、UIターン・移住、働き方・暮らし方、観光・イベント等**の地域情報を広く発信し、関係人口の獲得・拡大を図る。



↑ チラシ（紙媒体）

↓ サイト（ネット）

R5年度の取組実績

- ・ 記事掲載：52本（累計173本）
- ・ X（旧Twitter）：**640フォロワー（累計）**
- ・ JR大阪駅や各種イベントでのチラシ・うちわの配布
- ・ チラシのリニューアル、フリーペーパーの掲載 等

R6年度の取組状況（7月末時点）

- ・ 記事掲載：17本（累計190本）
- ・ X（旧Twitter）：**735フォロワー（累計）**
- ・ 各種イベントでのチラシ・うちわの配布
- ・ 管内3市等と連携し、府ゆかりの方へのPRを強化 等

年間アクセス件数	R4年度：84,789件
	R5年度：171,815件
	R6年度(7月末時点)：76,784件

CO-KYOTOの開設：R3年2月

中丹ファン（応援団）獲得拡大事業

中丹エリア周遊観光促進事業

- ✓ 中丹地域の観光モデルプランの磨き上げを図るため、海の京都DMOと連携した周遊イベントや府内の大学生等を対象とした観光体験ツアーを開催
- ✓ フェリー利用者の管内周遊につなげるため、船内で黒谷和紙等を使用した体験ワークショップを開催



黒谷和紙のインスタントカメラフォトフレーム

R5年度の取組実績

- ▶ アンケートによるデータ分析
 - ▶ 主要観光地から足を延ばし、寄り道してもらえる体験メニューを開拓・発信
- ▶ 体験メニューの完成度向上と情報発信
 - ▶ 平安女学院大の学生に体験メニューを実際に体験してもらい、意見を聴取（マイお茶缶づくり、刺繍体験）

体験した大学生の感想

- ・自分だけのオリジナルのものが作れたのがとても良かった。
- ・それぞれ体験が印象深く充実した1日だった。

R6年度の取組状況【新規】

- ▶ モデルプランの完成度向上・情報発信
 - ▶ 大学生等に実際に体験してもらい、参加者自身のSNS等によりモデルプランの情報を発信
- ▶ 新日本海フェリーでの体験プログラム
 - ▶ 新日本海フェリーに乗船している方を対象に、船内で楽しめる体験ワークショップ（フォトフレームづくり）を実施
 - ▶ 実施日：8月21日（水）、8月24日（土）

「大阪・関西万博」中丹地域交流促進事業

- ✓ 2025年の「大阪・関西万博」の開催に向けた機運醸成を図るため、**中丹茶の産地で、府民がお茶や茶菓子に親しむ催し**を中丹管内で実施
- ✓ 「大阪・関西万博」を契機に国内外への情報発信を強化するため、**中丹地域の観光情報等を集約した情報誌を発行・発信**

R6年度の取組状況

▶ 「きょうとまるごとお茶の博覧会2025」プレイイベント

- ▶ 時期：11月下旬（予定）
- ▶ 場所：あやべ・日東精工アリーナ
- ▶ 内容（調整中）：
 - ・「**味わう、学ぶ、体験する、買う**」をコンセプトに、中丹茶の魅力や文化などを再認識し、翌年の「**お茶博2025**」に向けた機運醸成につなげる。

▶ 中丹魅力情報誌の発行・発信

- ▶ メインターゲット：約350万人のインバウンド来場客
- ▶ 内容（調整中）：
 - ・中丹管内の観光面の魅力（体験メイン）をまとめた情報誌を作成（紙媒体の日本語版、デジタルの外国語版）
- ▶ 配布先（予定）：府内観光地、京都駅、万博会場 等

2025年日本国際博覧会 （大阪・関西万博）

- ・ 期 間：2025年4月13日～
2025年10月13日
- ・ 開催地：夢洲（大阪府大阪市）
- ・ 参加国・地域：160か国・地域
- ・ 予想来場者 約2,800万人
（うちインバウンド：約350万人）
- ・ 経済効果：約3兆3千億円



中丹「食の魅力」発掘・発信事業

「京都中丹いちおし商品」、「京都中丹認証ジビエ」

- ✓ 「京都中丹いちおし商品」の更なる魅力発信と販売促進を図るため、販売交流会や「京都中丹いちおし商品フェア」等の開催や効果的な販売戦略を検討
- ✓ 「京都中丹認証ジビエ」の認知度向上に向け、更なる販路拡大支援・PR強化を実施

R5年度の実績

▶ 販売促進イベントの開催

- ・いちおし商品フェア：3箇所
- ・いちおしマルシェ【R5新規】：1回
- ・販売交流会【R5新規】：1回

▶ 効果的な販売戦略の検討（福公大委託研究）

- ・製造や販売拡大に向けたニーズを把握・分析

▶ 第7回森の京都ジビエフェア（11月～2月）

- ・出店実績：中丹管内24店（全体43店）

▶ ジビエの府内イベント等への出店PR

- ・出店実績：延べ7店

R6年度の実況

▶ 販売促進イベントの開催

- ・いちおし商品フェア：3箇所予定（10月～）
- ・いちおしマルシェ：1回予定（10月）
- ・販売交流会：1回予定（R6年2月頃）

▶ 効果的な販売戦略の検討（同左）

- ・販売者の特徴に合わせた販売戦略案を作成

▶ 第8回森の京都ジビエフェア

- ・R6年11月～R7年2月（予定）

▶ ジビエの府内イベント等への出店PR

- ・出店目標：延べ8店

絆と交流の地域づくり

京都舞鶴港等を活用した人流・物流の拡大

- ✓ 京都縦貫自動車道全線開通などの道路ネットワーク強化と港湾整備が相まって、**京都舞鶴港**における**輸出貨物の集荷範囲が拡大**
- ✓ コンテナ取扱量やコンテナ貨物利用企業数は、**近年大幅な増加**
- ✓ **関西圏唯一の日本海側ゲートウェイ**として、**物流・人流双方の機能をさらに強化**



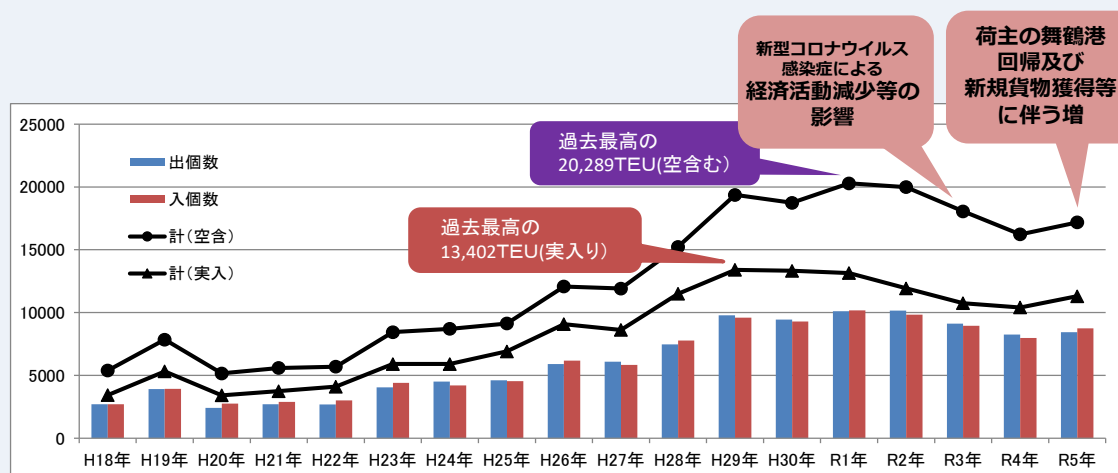
【舞鶴国際ふ頭】コンテナ貨物船（右）とバルク貨物船（左）による同時着岸、同時荷役



舞鶴国際ふ頭Ⅱ期整備

- ▶ 取扱量の増加等に対応するため、
 - ・岸壁延伸、ふ頭用地拡張（H29.10）
 - ・クレーン増設の供用開始（H30.5）
 - ・CFS供用（R元.7）
 - ・**第2バース・Ⅱ期整備着手（R4.1~）**

【京都舞鶴港におけるコンテナ数の推移】



出典：京都府（令和5年）

事業概要

- ▶ **京都舞鶴港への外航クルーズ船**
R5寄港数：10回(うち外国船7回)
 <コロナ感染拡大後の寄港回数>
 R2: 0回→R3: 4回→R4: 5回
R6寄港数：11回（予定）
- ▶ **第2ふ頭における多目的クレーンの更新**（整備年次:R5~8年度予定）

人流・物流を支える交通ネットワークの整備

人流・物流や地域の生活を支える道路整備の推進

- ✓ 地域間交流・活性化を促す**基幹道路の整備**を推進するとともに、府民の安心と暮らしを守る**通学路等交通安全対策**に取り組む。

基幹道路の整備

- ▶ **国道429号【榎峠バイパス】**（福知山市）
 - ・ 事業期間：令和2年度～8年度予定
 - ・ 整備効果：安心安全で円滑な通行環境の確保、地域間交流の促進 等
- ▶ **小倉西舞鶴線【白鳥工区】**（舞鶴市）
 - ・ 事業期間：平成26年度～
 - ・ 整備効果：道路の安全性向上、慢性的な渋滞緩和



小倉西舞鶴線 新白鳥トンネル（仮称）完成イメージ図

通学路交通安全対策

- ▶ **国道429号【川北】**（福知山市）
 - ・ 事業期間：令和元年度～
- ▶ **小浜綾部線【五津合】**（綾部市）
 - ・ 事業期間：平成25年度～
- ▶ **綾部大江宮津線【新庄】**（綾部市）
 - ・ 事業期間：令和2年度～
- ▶ **余部下舞鶴港線【下舞鶴】**（舞鶴市）
 - ・ 事業期間：平成22年度～令和6年度

安心・安全に暮らせる地域づくり

施策展開の方向性

- ✓ 安心・安全な暮らしを支える**社会基盤整備・維持**に加え、**災害対応力の強化**や安心して暮らせる環境整備に資するため、**住民意識の向上**や**社会基盤等を支える担い手の確保**、地域ぐるみでの取組を支援

重点的に

- 1 流域全体で水害を軽減させる「**流域治水**」を計画的に推進
- 2 災害発生時等の**交通ネットワークの確保**（路面のかさ上げ等道路機能の強化）
- 3 **自然災害時の初動対応を強化**する地域防災・減殺ネットワーク事業
- 4 **地域住民への人身被害を防ぐ**野生鳥獣被害地域総合対策事業

中丹地域振興計画の数値目標・実績数値

＜計画期間：2023(R5)年4月～2027(R9)年3月＞

70%以下：▲ 80%以上：○
70%以上：△ 90%以上：◎ 100%以上：☆

指標名称	基準値 (R4年度)	目標数値 (R8年度)	R5年度実績/R5年度目標 ＝達成率%
洪水時の3市間道路ネットワーク確保に向けた整備等箇所数(累計)	4箇所	9箇所	6/5 = 120.0%☆
土砂災害に対する要対策箇所の整備済数(累計)	308箇所	316箇所	310/312 = 99.4%◎
防災士資格取得者の人数(累計)	255人	375人	306/285 = 107.4%☆
タイムラインを策定した組織数(累計)	204組織	404組織	309/284 = 108.8%☆
避難退域時検査場所において汚染検査・簡易除染、通過証発行等を行うことができる職員の育成数(累計)	124人	270人	241/180 = 133.9%☆

安心・安全に暮らせる地域づくり

災害に強い社会基盤整備

流域全体で水害を軽減させる「流域治水」の計画的推進

- ✓ 激甚化・頻発化している豪雨災害に対し、しなやかで災害に強い地域づくりを推進するため、流域治水の観点から、**河川改修等の総合治水対策及び土砂災害対策等**に取り組む。

総合治水対策の推進

- ▶ **市の内水対策事業と連携した総合的な浸水対策【高野川】**（舞鶴市）
 - ・事業期間：平成30年度～
- ▶ **由良川支川における浸水対策【弘法川・法川】**（福知山市）
 - ・事業期間：平成27年度～
 - 【大谷川】**（福知山市）
 - ・事業期間：平成27年度～
- ▶ **伊佐津川**（舞鶴市）
 - ・事業期間：昭和62年度～

土砂災害防止対策の推進

- ▶ **志高**（舞鶴市）
 - ・事業期間：平成24年度～
- ▶ **大空川**（福知山市）
 - ・事業期間：令和6年度～



高野川河川改修（舞鶴市竹屋～引土）

安心・安全に暮らせる地域づくり

災害対応力の強化

地域防災・減災ネットワーク事業

- ✓ 自然災害発生時に、住民からの災害情報の提供を受け、行政の初動対応の迅速化につなげる
中丹地域独自の災害情報システムの登録者を拡大
- ✓ 災害危険区域を有する自主防災組織における**水害等避難行動タイムラインの作成を促進**する。

R5年度の実績

- ▶ 災害情報システムの登録住民（累計）
R5末：238人（実績）
- ▶ タイムライン※を策定した組織数（累計）
R5末：284組織（目標）
R5末：309組織（実績）

R6年度の実況

- ▶ 災害情報システムの新規登録者拡大に向けた普及、啓発
(例：防災展示での案内等)
- ▶ タイムライン※を策定した組織数（累計）
R6末(R7年3月末)：324組織（目標）
R6年7月末：346組織（実績）

※タイムラインとは…

「いつ」「どこへ」「どのように」避難するのかを地域住民同士で決めておく計画。地域の共助体制により、住民が声を掛け合いながら早めの避難行動を行うことを目指す。



安心して暮らせる環境整備

野生鳥獣被害地域総合対策事業

- ✓ シカ、イノシシ等の侵入防止柵の保守点検に関する講習会等を開催
- ✓ クマの誘因物除去の重要性の啓発やセンサーカメラによる出没調査
- ✓ サル群の行動圏調査を継続して実施



柿トタン巻き実演

R5年度の取組実績

▶ シカ、イノシシ対策

- ・ 侵入防止柵による被害対策方法の指導（2箇所）

▶ クマ対策

- ・ 警察・市・局が合同で啓発パトロール等を実施（7回）
- ・ パンフレットによる啓発（4,500部）
- ・ センサーカメラ等による出没調査

▶ サル対策

- ・ GPS発信器調査によるサル群の行動範囲の把握

R6年度の取組状況

▶ シカ、イノシシ対策

- ・ 侵入防止柵の管理等、効率的な被害対策の指導（2箇所実施中）

▶ クマ対策

- ・ 市と共同で、誘因物除去研修会（カキ等果樹の撤去やトタン巻き等）を実施予定
- ・ センサーカメラ等による出没状況の把握

▶ サル対策

- ・ サル群の行動調査を踏まえた被害対策研修を実施（2回予定）